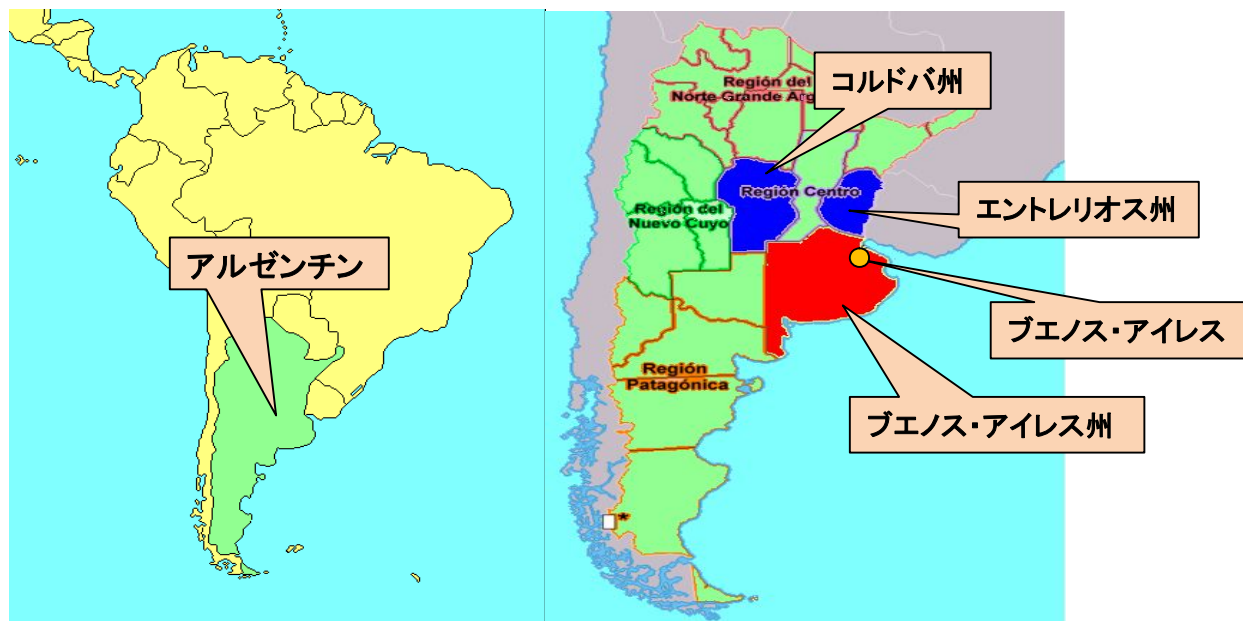


アルゼンチンのセントルイス脳炎(流行警報)

2010年4月2日 ProMED 情報(汎アメリカ保健機関 (PAHO))



3月31日、アルゼンチン保健省はセントルイス脳炎患者を新たに確認しました。3月29日までにブエノス・アイレス Buenos Aires 州と首都ブエノス・アイレスで、これまで4名の患者が確認されています。

セントルイス脳炎ウイルスは、同国では、以前、中央地域(主にコルドバ Córdoba 州とエントレリオス Entre Ríos 州)で流行を引き起こしたことがあります。今回はじめてブエノス・アイレスで患者発生が確認されました。

[ProMED 調整者]

セントルイス脳炎ウイルス感染では、臨床症状を呈するのは1%以下であることから、セントルイス脳炎患者が4名発生したことは、この4名以外に約400名の軽症か無症状感染者がいることを示唆しています。死亡率は5~30%で、高齢者で高い傾向があります。セントルイス脳炎には、ワクチンがないので、米国疾病予防管理センター(CDC)は、蚊に刺されない対策を勧めています。

厚生労働省 福岡検疫所